

浜甲トライあぐる

甲子園浜小学校校区で地域に関わる主体が連携して、地域に対して何かできないかということで、2019年に「浜甲トライあぐる」の活動が始まりました。

浜甲子園エリアでは高齢化が進み、認知症による徘徊も発生しています。また、団地建替えによりファミリー層が増え、子どもの数が増えているにもかかわらず、その見守りの担い手が高齢化、減少しています。そんな状況から、三人の送迎車にステッカーを貼ることで、地域の見守り活動をしていこうと現在計画です。互いに情報共有し、連携しながら、地域全体で、すべての世代が安心して暮らせる街づくりをこれからも進めていきます。



まちなね 浜甲子園 × 浜甲 トライあぐる

#発達障害#不登校#相談#個人的
#グレーゾーン#発達ゆっくりさんと繋がりたい
#発達凸凹#小学校元教員#特別支援免許保持
#チャイルドカウンセラー#家庭療法士

育ちの会『ありのまま』

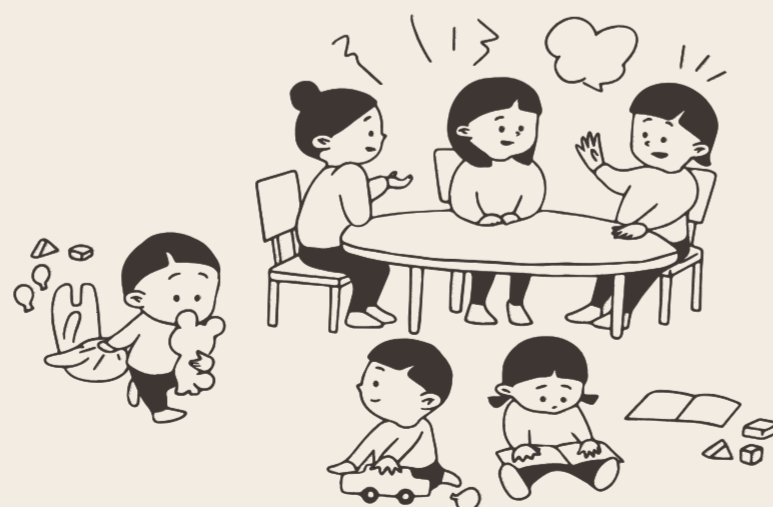
『みんながってみんないい。どんな人たちにも、自分らしく居られる場所を』をコンセプトにまちなね浜甲子園と元小学校教員の住民が共に活動し始めます！

HAMACO:LIVING に来られる方から「不登校や学校生活で何かしらのしんどい思いをしている子どもたちに地域で安心して過ごせる居場所を作れないか」と相談がありました。話を聞いてみると「小学校の教員を辞めてからも、個人で教育活動を小さく続けていたのですが、せっかくなら HAMACO:LIVING でできることを始めてみたい」とのことでした。まだまだ温め始めの活動の卵ですが、まずは子育てで同じような心のモヤモヤを感じている保護者の方のための集まりを開いていくことになりました。

子どもの発達がゆっくりなことが心配、いろいろ考えてしまって児童館に安心して遊びに行かせられない、自分の親にはあまり理解されず相談できる人がいない、ネットで検索ばかりしてしまう、同じように悩んでいる方はたくさんおられます。

不安や孤独を一人で抱えていませんか？ぜひ一度、これから何ができるか、一緒に考えていきましょう。

まちなね 浜甲子園 × 元小学校教員の住民



まちのよろず屋

～住民の困りごと、住民で少しお手伝い～

「まちのよろず屋」はちょっと助けて欲しい住民さんと、お手伝いできる住民さんをワンコインでつなげるという鳴尾東地域で行われていた活動です。今回のコロナ禍で何かできることはないかと考え、周辺地域の「つどいの場」と一緒によろず屋の拠点として活動を始めました。

●お助け事例



買い物代行



掃除



散歩の付き添い

お手伝いの力を必要としている方なら年齢に関係なくご利用可能です。また、お手伝いできるよ～という方も募集中です。

活動サポーターさんにお話をうかがいました。



Q1 なぜこの活動をしようと思われたのですか？

隣近所が疎遠になっている環境のなか、災害の時などつながりが大切だと考えていました。特に核家族化・超高齢化地域と言われる浜甲子園は、多世代の交流が必要なのでぜひ活動したいと思いました。

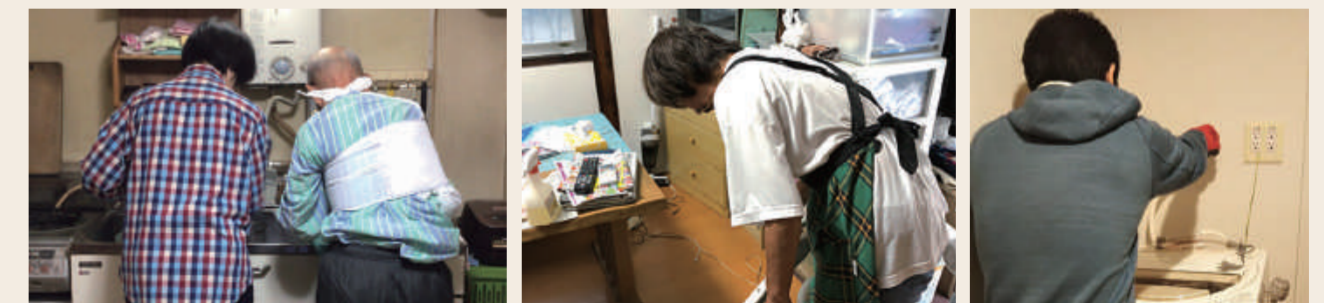
Q2 どんな活動をしましたか？

お一人暮らしの方の窓掃除にいきました。作業の合間には利用者さんとお話し、和やかに作業ができましたし、掃除方法も学べました。

Q3 活動されていかがでしたか？

この活動をすることで、人と人との交流を感じました。このサポートが少しずつでもひろがっていったらステキだなあと感じます。

活動の様子



大人のおしゃべり会

【開催日時】 第2金曜日 13:30～15:30

「まちのよろず屋」の取り組みを多くの方に知ってもらうことをテーマに、「大人のおしゃべり会」を開催しています。仕組みについての説明だけではなく、サポーターとして活動して下さって

る方からお話をきいていただくと、こんなことでも頼めるんだ、これならわたしでもお手伝いできるねと感じていただけたと思いますので、ぜひご参加ください。

